

はなえみ

公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会 第10回家政士検定記念号

◆家政士検定 第10回記念 座談会

10回の節目は、新たな挑戦へのスタート。
社会の認知と共感を得るアクションを起こそう!

家政婦(夫)の専門性と自信の裏付けとなってきた「家政士検定」

細江容子さん、徳野純子さん、茂木芳枝さん、古澤洋子さん、大井友美子…1

●「家政士」感動体験レポート 広報委員取材 …8・9

西神看護師家政婦紹介所 森岡 里見さん

有限会社ケアサービス田之上人材センター 松井 みどりさん

有限会社稲木ケア・サービス 坪川 加代さん

アーチ福祉&サービス人材センター 依田 美佳さん、

花知識◆ワックスフラワー

●花卉にワックスがかかったようにつやつやとした
光沢があることから、この名がつけられています。
オーストラリアの砂漠地帯に自生する花で、
ワイルドフラワーに分類されています。
乾燥にとっても強い性質を持っており、日光のよく当たる
水はけのよい場所で最もよく成長し、
たくさんの愛らしい花を咲かせます。暑い季節に
強く、日持ちの良い花で、甘い香りも人気。
他の花の邪魔をしない小花のため、
花束やアレンジメントによく使われる花として
親しまれ、リースの飾りつけなどにも適しています。

●花ことば:「繊細」「かわいらしさ」

「気まぐれ」「まだ気づかれない長所」

●植物分類:フトモモ科 常緑の灌木

●原産地:西オーストラリア州



◆ 家政士検定 第10回記念 座談会

10回の節目は、新たな挑戦へのスタート。 社会の認知と共感を得るアクションを起こそう!

家政婦(夫)の専門性と自信の裏付けとなってきた「家政士検定」

2016(平成28)年の創設以来、制度の構築・運営に携わる多くの関係者のご尽力により、これまで9回の実施を重ねてきた家政士検定試験。

本年、第10回という節目を迎えるにあたり、検定試験の運営実務に携わる方々による「座談会」をお届けいたします。

制度成立の背景や、よりよい制度をめざした運用改善の歩み。そして実務現場における活用状況……等々。これまでの歩みを振り返りつつ、制度のさらなる発展に向けた課題や可能性について共有し、今後を展望する機会といたします。

司会：清水保人（広報委員長）

高齢化・共働きの増大を背景にスタート 「家政労働の社会的地位向上」を推進

——まず、検定制度スタートの背景を、学術的な観点も踏まえ、細江委員に伺いたいと思います。

細江■社会的・歴史的には、おおむね5つのポイントにまとめられると思います。

①「社会の高齢化」、②「共働き家庭の増大」。この2点があって、家事支援サービスの需要が拡大してきました。ビジネスの面からは③「労働専門性の確立」と④「質の保証」が求められます。

そして、もう1点。家政労働といえば、かつては「女ならやれて当たり前」と見なされ、仕事として一段も二段も低く見られてきたわけです。専門能力とその活動の質が見える形にして掲げることで、家政労働の⑤「社会的地位の向上」を図る。この5つですね。

徳野■例年11月の実施で今回10回目ということなのですが、実を申せば、私ども近畿ブロックでは、戸蒔利和会長のご提案を受けて、第1回検定の半年ほど前に先行実施しています。テストケースですね。だから近畿ブロックだけは今回で11回目。この

実施では、北海道から九州まで全国各地の紹介所長さんが見学に来られたものです。以来、一度も欠かすことなく検定実施に取り組み頑張ってきました。

茂木■10年前の思い出といえば、会場設営でバタバタと走り回っていた記憶しかなくて、今にして振り返れば、検定制度の意義について深く考えを巡らすことまではできていなかったように思います。

古澤■私の九州ブロックでは、当時、検定実施に理解を示す方が思いの外、少なく……。宮崎1か所での実施になったのですが、「これはPRを頑張らなければ」と思い、宮崎のローカルテレビ局に話を持ちかけたところ取材のカメラが入って放送され、一般の視聴者さんから大きな反響をいただきました。

あのテキストブックの完成が 業界を変えた!!

古澤■当初は、受験に手を挙げた家政婦(夫)さんたちから、「受験勉強に役立つ参考書はないのか?」と尋ねられたものです。看家協会のDVDを参考にしたりして、みんなで学習に取り組んできたのですが、2016年に優れたテキストができました。あのテキストブックを初めて見たとき、「この本が業界を変える!!」と思いました。



●座談会参加者

細江容子さん

(実践女子大学名誉教授／検定運営委員)

徳野純子さん ※ZOOMで参加

(西神看護師家政婦紹介所 代表／副会長／検定運営委員)

茂木芳枝さん

(モチギ家政婦紹介所 代表／副会長／検定運営委員)

古澤洋子さん ※ZOOMで参加

((有)ケアサービス田之上人材センター 代表／理事／検定運営委員)

大井友美子(協会事務局職員)



私のところでは訪問介護事業もやっているのですが、その部門のサービス提供責任者たちがテキストブックを一読して「私も家政士検定を受けたい」と言ってくれています。私にとって家政士検定とは、家政婦（夫）さんの夢と未来を切り開く存在といえます。

——検定にチャレンジされる受検者さんや試験実施に尽力される皆様をバックアップする立場の協会事務方からもひと言お願いします。

大井■介護保険における要支援認定者・要介護者

が激増している世相を背景に、各種人材サービス事業者の家政分野参入が目立ってきた今こそ「社会が求める家政婦（夫）像とはどんなものなのか」をしつかり考察していく必要を感じています。

真に望まれる新しい家政婦（夫）像を構築することによって、この仕事の社会的認知度と評価を高め、働く当事者にもやりがいと満足度、能力に見合った感謝と評価を得ていただく。家政士検定は、その有効な一助になるものと信じております。

第1回 家政士検定

思い出のPHOTO





司会：清水保人

紹介所長の賛同と協力が あってこそ推進していける

——検定実施にあたっては、心ある紹介所長さまをはじめ各ブロックの幹部の皆様にも多大なご協力をいただいています。そのご苦勞の一端をぜひお聞かせください。

徳野■テストケースにあたる先行実施をお引き受けするにあたり、近畿ブロックでは所長さんが集まって何度も会議を開き、試行錯誤しながら開催にこぎつけました。それから10年、今では当時の人たちが引退され、2代目3代目に事業が引き継がれている事業所も少なくありません。

この後継ぎの方々が試験のお手伝いと検定員業務も引き継いでいただいています。こうなると検定スキルの維持・向上のプロセスも課題になってくるわけです。

最初は検定員補助から始めて、1年経験を積んだら検定員、さらには主任検定員となっていく。

家政士検定の普及にあたっては、優れた検定員の育成も重要だと痛感しています。

古澤■その意味からも、各紹介所長さんのご理解が大切です。前述したとおり、かつての九州ブロックでは「資格なんか取らせて何になるのか」という意見が強かった。そんなふうに言われるたび、私は検定のテキストブックを見せながら「これほどの教科書があるのに、なぜ学ばせようとしないのか」と所長さんたちに説き続けました。

一方、家政婦（夫）さんたちにテキストを読んでもらうと、ほとんどの人が「これは役に立つ」と言ってくれたものです。また、現役の家政婦（夫）さんではなく、清掃会社の職員さんたちが、こぞって受検に来られたこともありました。



細江容子さん

体系的な受検学習で得られる “専門家”としての自信

——家政士検定には、確実に需要があるということですね。とはいえ、気軽な受検をためらわせる阻害要因もありそうです。

古澤■各ブロックとも、エリアがかなり広いことですね。九州ブロックでは第1回目は宮崎での開催でしたが、人が多い福岡あたりからは距離があります。これではなかなか受検できません。

茂木■東京ブロックは人も多いので、受検者集めにはさほど苦勞しないと高をくくっていました。黙っていても、それなりの人数が受検する。実際、一昨年の第8回まではそのとおりだったのですが、昨年がたんと受検者が減ったのです。その理由を分析したところ、「もう高齢だから、今さら試験なんか受けたくない」という声がけっこう挙がってきました。

——ベテランの中には改めて受検勉強などしなくても、ゆうゆう試験にパスできる実力者も少なくないはずですが、わざわざ遠くの試験会場まで赴くのはしんどい。その気持ちは理解できるし、高齢化はあらゆる局面での課題。家政士検定に興味を持ち、学んでみようと思う家政婦（夫）さんたちの潜在ニーズを拾い上げるためにも、各地の紹介



徳野純子さん



茂木芳枝さん

所長さんのさらなる理解と協力を得て、検定試験会場を拡充することが欠かせませんね。

徳野■拡充のためには、運営経費の圧縮も大事ですね。近畿ブロックでは当初、民間の会場を借りていました。そうすると、たとえばパーティションを借りるのにも「1枚いくら」です。実技試験ブースの間仕切りだから何10枚も使うので、半端でない経費が積み上がっていきます。頭を抱えていたところ、戸荻会長から「兵庫労働局に相談してみては?」とご示唆をいただき、兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）の会場活用につながりました。

茂木■東京ブロックでは、経費の節減も考え、これまで中野サンプラザ、損保会館、品川リハビリテーションパークと会場を変更してきました。たいへん助かっています。

——家政士検定の意義と将来性に賛同・共感していただけたということですね。嬉しい限りです。



**会場が遠いと受けられない!!という声も
経費削減・高齢化にも頭を抱えた**

細江■家政婦（夫）は「生活支援の専門家」。家政士検定はその専門性を社会に向けて可視化し、かつ内部人材に向けては先人が培ってきた専門技術と知識を伝える手段です。



古澤洋子さん



大井友美子さん

専門職になるためには、体系的な教育を受けた上で、学んだことを現場で活かして経験に変えていくことが必要不可欠。各ブロックの代表からお話を伺って、新たな制度発足に伴うご苦勞のほどが忍ばれましたし、「専門家を育成していくぞ」という業界の決意が理解できました。いわゆる“有識者”の立場からお手伝いする身として、頭が下がる思いです。

家政婦（夫）が持つ素晴らしい専門性をもっともっと社会に知ってほしいし、そのためには広報・宣伝にも知恵を絞る必要性を感じています。

——家政士検定の存在を強くアピールしていくことには、まさに大きな意義がありますね。

ではアピールという点で、家政士検定の普及に尽力されてきたお立場から、この検定に取り組んだことで、ご自身が実感されたメリットについてアピールしていただけないでしょうか。

古澤■ベテランの家政婦（夫）さんたちは高度な技術と知識を持ち合わせています。とはいえ、この人たちのスキルは経験を通じて身についたもの。体系的に理論を学んで得たわけではないから、多くの人が内心では「このやり方で本当に合っているのかな?」と、今ひとつ自信を持ってないようです。

でも、受検対策でテキストをひもとけば、考え方や倫理が整理されていて「ああ、私のやり方でやっぱり正解だったんだ」と改めて気付ける。それまで曖昧模糊としていた経験則でしかなかったものが、検定のお墨付きを得て体系的なノウハウとなり、確固たる自信につながる。自分の仕事に自信が持てるのは、とても大事なことでないでしょうか。



**顧客コミュニケーションがスムーズに!
プロの仕事に自信が持てるようになる**

茂木■私は家政士検定の合格者さんから「家政サー



ビスの基本がしっかり理解されてお客様とのコミュニケーションがスムーズになった」と伺ったことがあります。自己流のスキルでは、肝心なところでお客様にうまく説明できないケースがありがち。やっていることは決して間違いではないのに、適切な言葉にできないために、お客様の納得を得づらいことがあります。

お客様の納得や理解を得られず、不興を買ったり叱られたりすれば落ち込んでしまい、自分自身もプロフェッショナルとしての意識を持ちづらくなる。

家政士検定にパスすることで、そうした悩みを克服できた人材が多くいます。

古澤■最近では、サービス需要者（お客様）のほうも、「なにか得意分野を持っている人材はいませんか?」とお尋ねになるケースがありますから、専門能力の存在証明である家政士の肩書きは、実にわかりやすい。私たちとしても自信を持って紹介できます。

介護領域と家事支援が家政士資格の存在で、シームレスにつながってきている

徳野■行政当局者の家政婦（夫）を見る目も変わってきたと感じます。

以前、神戸市の介護保険課を家政士養成テキスト持参で訪問した時、ご担当の幹部職員の方がテキストのページをめくりながら、「介護福祉士とも相通じる内容を持った検定ですね」と言われました。調理や清掃といった実技だけでなく、学科試験も課す検定であることにも着目されたようです。テキストブックを全部貸してほしいと求められて、その1週間後、先方から連絡が来ました。

「介護福祉士やヘルパーの資格を持っていなくても、家政士なら、すでに十分なノウハウを有しているとみなして、介護予防・日常生活支援総合事業のヘルパーとして働いてもらえますよ」と。これはあくま

で神戸市の事例であり、事情が異なる自治体もあるでしょうが、千葉市でも同様の運用が始まったと聞き及んでいます。

——家政士が持つスキルが公に認められ、担当できる業務領域が広がれば、その分だけ就業機会が増えます。収入アップの道も開ける、ということですね。

徳野■介護福祉士が活躍する訪問介護の現場は、多くの場合、家事支援に対するニーズも抱えているわけですね。家政婦（夫）は、掃除に洗濯、食事の支度、そしてご家族が要介護者とのお話し、用事をしている間の子守り……等々。

介護にはさまざまな家政ニーズが派生しますが、介護福祉士がそれらすべてをカバーすることはできません。この方たちはあくまで介護の専門家であって、調理や育児は業務領域外。それらについて学ぶこともありません。一方、家政婦（夫）は、買い物の預かり金等の金銭管理までこなします。

——家事全般に加えて介護領域まで網羅する家政士検定にパスした家政婦（夫）は、これからの社会では、仕事が途切れることなどなさそうですね。

徳野■介護保険要支援者のヘルパー業務1時間を終了した時に「家事が“本業”なら掃除を念入りをお願いしたいな」という話になり、事業所に連絡の上、引き続き2時間、全額自費の家政婦（夫）としての業務に就いた例も。私の事業所で実際にあったケースです。こうした生活支援複合ニーズに応えられるのは、家政士だからこそです。働いた本人は「最初の1時間は介護保険のヘルパーだから法的な制約もいろいろあって緊張したけれど、次の2時間は私の得意分野でもあるので伸び伸びとやれました。私はやっぱり家政婦（夫）の仕事のほうが好きです。お客様の頼み事をたいていこなせる仕事ですからね」と話していました。



もっと知られる必要がある 「家政士検定」のブランディングが急務

——家政士検定の今後に向けた課題とは？

細江■社会に対するブランディングは焦眉の急です。

この10年を振り返ると、家政士検定がスタートする直前の2015年ごろまでは、家政婦（夫）の需要先といえば、まだまだ富裕層が中心でした。それが2020年ごろから、高齢単身世帯や共働き世帯に需要が急速に広がってきています。この傾向は今後さらに進むでしょう。

大昔の“お手伝いさん”の時代なら「人柄重視。資格・経歴不問」でOKだったのが、需要が一般化・大衆化すればそうはいきません。限りある家計の中から大枚をはたくのだから、プロのレベルを期待するのが当たり前。業界としてはサービスの質と信頼性をいかに担保するかがさらに問われるようになります。

“安心のブランド”として創設されたのが家政士ですが、このブランド機能を果たすためには、社会全般に、もっともっと知られる必要があります。

——マスメディアでの露出を仕掛けたり、SNSを上手に活用したり……といった広報戦略ですね。

徳野■「男性の家事参加」が強く求められるようになった世相を受けて、ある大企業が「男性社員向けの家事講習」を始めたという報道がありました。誰もが知っている在阪の世界的大企業です。これは面白いと思って、家政士検定テキストを提供すべく動いているところですが……。

細江■そういう場に、家政士資格を持つベテラン家政婦さんを講師として送り込むのはいかがでしょうか？

それと、家政学部をはじめとする生活科学系の高等教育機関への働きかけも欠かせません。

——家政士検定にパスした学生には単位を認めよ

ということですね。これが実現すると、学生さんはこぞって受検するでしょうし、卒業後に進んだ職場でも家政士検定の存在をアピールしてくれることが期待できます。

さらに高めたい 業界内部の理解と認識

茂木■対社会的な広報・情宣もさることながら、業界インサイドへの周知活動を徹底しなければと思います。家政士検定は、厚生労働大臣認定の社内検定制度和して実施されてきましたが、今回から同大臣認定の「団体等検定制制度」で行われることになりました。この新しい制度では“認定第1号”です。

——制度としてのステイタスが上がったということですね。

茂木■自分たちの業界が創設した資格制度の価値に気づいてほしい。この「10年という節目」を踏まえ、ブロックごとに紹介所長さんたちへの呼びかけをさらに強めていきたいと思っています。

古澤■細江先生のご指摘のとおり、社会の高齢化というトレンドを受けて、今は家政婦（夫）にも介護職にも“追い風”が吹いています。介護職は需要がヒートアップしすぎて、人手不足からかえって廃業に追い込まれる事業所が多発するほどで、その分、介護の担い手として家政婦（夫）の存在感が増すばかりの印象です。実際、実力のある家政婦（夫）さんは、資格なんか取らなくても目一杯稼働しており、お客様を待たせている状況です。

この状況下で資格取得に積極的にチャレンジさせようと思うなら、有資格者の処遇を改善すること。具体的には「時給アップ」ですね。

——優れたサービスを提供できる人材が高報酬を得るのは当然のことですし、安心安全なサービス



を受けようとするなら、ユーザがそれなりのコストを負担するのも、また然り。

ただし、この“当然”を現実化するには、経営サイドの努力も必要でしょう。あなたは自分のところの家政士を高く売れますか?という話ですね。

古澤■だから私は、家政士制度に後ろ向きな紹介所経営者にはこう言いたいんです。「家政士検定のテキストブックを全巻精読してみしてほしい」と。

あのテキストブックに書かれていることを実践できるのは、相当な実力者であるとわかるはず。

オールラウンドの生活支援パートナーに「家政士」の社会認知拡大を!

茂木■あのテキストをマスターして検定試験に受かった家政士は、これからの日本社会でニーズが激増する“オールラウンドの生活支援パートナー”です。そうした人材の価値をぜひ認識してほしいです。

古澤■私の紹介所では、新人向けの勉強会に家政

士テキストを使っているのですが、あのテキストの評判を聞きつけたベテランさんが「そういう勉強会があるんだったら、なんで私にも声をかけてくれなかったの?」と言ってきたことがありました。この人は経験豊富で、今さら勉強などしなくても実務で困ることは一切ないはず。そんな人材の前向きな姿勢に感激しました。

細江■そうした方々の向上心に應えるためにも、テキストブックのアップデートも前向きに検討していくべきだろうと思いますね。

大井■意欲ある家政婦(夫)さんにとって、家政士検定は決してゴールではないはず。検定合格後のさらなるスキルアップについても、事務局として支援していきたいと感じました。

——第10回という回数もまた節目にすぎず、ゴールではありません。家政士検定の認知向上と実社会の中での存在感発揮のため、これからも手を携え自信を持って、推進して参りたいと思います。

(会場での写真/渡邊英昭)

- 試験前講習会でも使用
- 研修材料として使用可能

全4巻

家政士養成テキスト

編集：公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会
B5判/本文2色刷り/並製

第1巻 家政サービスの基本

●100頁/定価 1,760円

主な内容:コミュニケーション、基本的マナー、外部関係団体との連携、目標管理、お客様の安全確保・トラブルの未然防止のための対応



第3巻 介護サービス

●100頁/定価 1,760円

主な内容:身体介助、認知症に関する対応、看取りのケア、ケアサポートに必要な知識と技術



第2巻 家事サービス

●160頁/定価 2,420円

主な内容:衣生活サービス、食生活サービス、住生活サービス、買い物、その他の生活管理



第4巻 子育て支援サービス

●96頁/定価 1,760円

主な内容:子どもの身体とこころの発達、衣服の着替えのケア、就寝のためのケア、排泄のケア、清潔を保つケア、遊びのケア、食事とおやつ、子どもの緊急時への対応



※ご注文は、専用の「FAX申込書」に必要事項をご記入の上、当協会までFAXでお申し込みください(FAX申込書は、協会ホームページよりダウンロードいただけます)。FAX番号: 03-3353-4326

家政士資格を得て自分に自信と誇りが持てるようになり、社会からも評価されている感激の声が寄せられた。

家政士資格を持つことで、家政サービスの質に対して自信と誇りが得られ、AIやロボットにはできない「ホスピタリティー」「精神」を学ぶ事で、社会の信用と評価がさらに得られていくことが証言されている。

●兵庫県 西神看護師家政婦紹介所 森岡 里見さん

思い起こすと10年前、徳野社長より「秋に行われる資格試験を受けてみないか」とお声掛け頂きました。どのようなものかとお尋ねすると、テキストがあるのでと拝見しましたところ、テキストが4冊、ビッシリと活字が埋まっており、こんなにたくさん勉強できる?と不安でしたが、社長から背中を押して頂き受験することとしました。通勤の車中や自宅での家事を終えた後、夜勉強し、なんとか合格の通知を頂き社長や事務所の方々から報告を受けたことを思い出します。

テキストは介護・子育て、家事、そして家政サービスという分野に分かれ、どれも奥深く今も時々ページを開いて確認することがあります。今まで理解していた事も改めてテキストの活字から頭に入ると、新しい感覚となってしみ込んでくることもありました。

神戸市では家政士検定試験に合格していれば、私のようにヘルパー資格がなくても要支援の方の生活支援訪問サービス（日常生活支援総合事業）をできるようになりました。

訪問介護員として会社の指示により1回45分担当させて頂きました。限られた時間にするヘルパー業務と、比較的余裕のある家政婦時間をお客様と共有しながら納得して頂ける家政士としての役目とで両方の利点を生かしながらお仕事させて頂いた経験が

あります。少しばかりの自信に繋がりましたが、まだまだ迷うことも多くテキストを改めて見る事によって正しい判断も出来ております。

このテキストの中から特に学んだ事は、家政サービスの「ホスピタリティー」から学ぶ精神性です。目に見える家事援助や、介護の根底には「目に見えない心のサービス」があり大切だということです。目配り・気配り・思いやり・心配りという大切なキーワードを学ばせて頂きました。今後も心の在り方の学びをしていける教材なり、講習会を開いていただけたら嬉しいです。

今後、ロボットが家事をこなす時代が来るかも知れませんが、介護の世界ではただ時間内に仕事をこなすだけでなく、人と人がコミュニケーションを重ねていくことが大切になると思います。高齢化が進む中だからこそ「ホスピタリティー」を大切にする家政士の出番ではないでしょうか。利用者様の日々の変化に素直に対応していく中で、私自身の心が研ぎ澄まされるような時間を感じる時があり、年を重ねてから出会ったこのお仕事に感謝し、過ごしていきたいと思えます。このように関わって下さる方々にも心より感謝いたします。ありがとうございました。



●宮崎県 有限会社ケアサービス田之上人材センター 松井 みどりさん

私は紹介所の所長さんから、「家政士」の試験を受けてみませんか?と声を掛けられ、まだ家政婦になって日も浅いのになら受験できるのだろうかと思いながら、挑戦することになりました。

仕事はまだ始めたばかりで、テキストを見たら結構な量だったので自信はありませんでしたが、毎日テキストを読んで勉強しました。読んでいるうちにいろいろな事を学び、楽しくなってきました。受験に合格した報告を

受けた時は、天にも昇るくらい嬉しかったです。仕事に対して少し自信もつき、心構えもしっかりとできてきたように感じられました。

特に野菜の切り方、アイロンのかけ方、しみ抜き等を実践し身につけられたのはとても役に立っています。合格の話を友人や家族にしたから「その年で合格したの」とびっくりされました。改



めてしっかりした仕事をしていかなければならないと気が引き締まりました。

この資格を仕事に生かして、ご利用者様から喜んででもらおうと思って毎日仕事に励んでいます。私たちの仕事は日頃家庭で行っている家事が中心です

●福井県 有限会社稲木ケア・サービス 坪川 加代さん

家政士という資格は、紹介所で働く際に、資格があることにより、利用者の方に安心感や信頼感を持てただけという期待がありました。

私自身は、資格を持ってお仕事をする事の重要性、スキルの向上を目指すという気持ちを大切に、励みたいと思っています。資格を持って仕事をするということは、ある程度の能力を持っていないといけないと思います。利用者さんに満足していただいた時や、喜んでいただけた時に特にそう感じます。

当日の試験内容についてはどの分野から出題されるかがわからないので緊張しましたが、どの分野から出題されても対応できるように勉強しました。

試験の合格について聞いた時は、とても嬉しく思いました。家族も喜んでくれました。友人の反応は、家政士という資格がある事を知らなかったもので、そのような資格がある事と合格した事に驚かれました。

家政士の資格を取得して、自信も持てましたし、

が、家政士の勉強をしてみて介護や育児等、沢山のことを習得でき、今後の仕事に生かしていけると思いました。まだ受験されていない方々も是非とも勉強してチャレンジしてほしいと思います。私たち家政婦（夫）の地位向上にもつながると思います。



資格がある事により仕事に対しての完璧さを更に求めるようになり、自分自身が今までよりしっかりと仕事をしていきたいと思うようになりました。

この資格を取得するといいいと思う人をイメージすると、とりあえず取っておこうという方よりも、仕事に対して前向きで、責任感がある方に受験してもらい、家政士である事に対して誇りを持ち仕事をしていこうという方に受験してもらいたいです。

家政士の資格は、取ることに必要性があるというより、責任を持って仕事をする上で自分の気持ちを引き締めるためにいいと思います。

仕事のやりがいを感じるのは、利用者さんに、喜んでもらえた時や、笑顔でありがとうと言っていた時、仕事の内容に対して満足して頂き、あなたに任せておけば大丈夫と言っていた時です。

●東京都 アーチ福祉&サービス人材センター 依田 美佳さん

訪問介護員の資格を取得した後に、家政士資格も、この仕事にきっと役に立つと思い挑戦しました。テキストが4冊もあったので、覚えることが多そうと感じましたが、しっかり読んで講習会にも参加しました。

筆記試験の後の、実技試験は、当初は不安でしたが、意外に上手くできてほっとしました。

それから、合格したときは、会社の皆さんから、「おめでとう!!」と口々に言ってもらえ、とても嬉しくなりました。また、会社の全体研修会で、大勢の前で、表彰され、お祝いも頂きました。普通の生活の中では、めったにない有難い体験でした。

家政士検定試験の勉強では、家事について知っ

ているようで、正確に知らないことが沢山あり、分かって良かった、と、感激しました。例えば、衣類のたたみ方など。おかげで、我が家のタンスは整理整頓、きれいに収納されています。まさに、日常の生活の質アップです。

これから家庭を持つであろう若い女性はもちろん、若い男性にもぜひ勉強してもらい、家政士資格を取得して頂きたいと期待しています。

結婚相手に求められる「3K」は、かつての「高身長・高学歴・高収入」から、今後は、「会話力・協調性・家政士資格」といきたいものです。



家政士 川柳

第10回家政士検定試験を記念して、「家政士」「家政婦(夫)」職種への愛情と誇りが伝わってくる川柳がたくさん集まりました！仕事や想いを伝える川柳が編集委員、協会事務局の方々から多数お寄せいただきました。

さよならの
言葉に代わる
ありがとう

家事のプロ
ありがた山の
寒がらす

ゆとり生む
タイパとコスパ
家事のプロ

「また来てね」
その笑顔こそ
ごほうびさ

掃除だけ？
いいえ任せて
家のこと

暮らしごと
まるごと支える
家政士よ

支える手
日々の暮らしに
そっと寄り

料理掃除
介護もできる
まさにプロ

★皆様からの投稿をお待ちしています。

お便りと今号のご感想・要望など看家協会事務局(E-mail: post@kanka.or.jp)まで、メールでお寄せください。また郵送の場合は協会(下記)までお送りください。

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会 はなえみ投稿係

編集委員会 (50音順、◎印委員長)

板井仁志、古賀道、渋谷洋子、◎清水保人、

高橋和子、宮本和明、茂木芳枝、渡邊嘉子(編集顧問)

編集後記

この度の座談会に同席させて頂きました。所長様方からここに至るまでの努力とご苦労を頭が下がる思いでお聞きしました。制度の構築や運営に関わられた多くの方の労がどれほどであったかを思わされました。また検定制制度創設以来関わってこられた細江先生が有識者の立場で語られたことに改めて原点を確認しました。「家事支援サービスの需要に紹介所が応えるためには「質の向上」更に社会的に低く見られている「家政労働の地位向上」に努めなければならない、専門職として「体系的な教育」が必要」ということ。今迄は経験、人柄でマッチングしてきましたが、これからは専門性が評価されます。家政婦(夫)が専門職としてプライドを持って働けるように、まず私たちが資格の重要性を認識する必要があるのでは、と改めて強く感じました。(編集委員・高橋和子)

看家広報 はなえみ164号 Hanaemi Bimonthly164

2025年9月25日発行 第10回家政士検定記念号

発行 公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会
〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

TEL 03-3353-4641

FAX 03-3353-4326

URL https://kanka.or.jp/

E-mail post@kanka.or.jp



制作会社: 株式会社ヒューマン・コミュニケーション研究所
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-14ライオンズ原宿402
研究室: 〒104-0045 東京都中央区築地2-15-10-1602
TEL: 03-3545-8038
E-mail: yoshiko.w@human-c-labo.net

厚生労働大臣認定

第10回家政士検定試験

全国10会場で実施



試験日 **11月22日(土)**

学科試験 午前

実技試験 午後

試験地	会場	時間	試験地	会場	時間
札幌	札幌エルプラザ 札幌市北区北8条西3丁目	学科 10:00	福井	福井県中小企業 産業大学校 福井市下六条町16-15	学科 10:00
		実技 13:00以降			実技 13:00以降
さいたま	ソニックシティ さいたま市大宮区桜木町 1-7-5	学科 10:00	静岡	静岡県産業経済 会館 静岡市葵区追手町44-1	学科 10:00
		実技 13:00以降			実技 13:00以降
千葉	千葉県教育会館 千葉市中央区中央 4-13-10	学科 10:00	尼崎	ポリテクセンター 兵庫 尼崎市武庫豊町3-1-50	学科 10:00
		実技 13:00以降			実技 13:00以降
東京	品川リハビリ テーションパーク 品川区北品川5-2-1	学科 9:00	岡山	ポリテクセンター 岡山 岡山市北区田中580	学科 10:00
		実技 13:00以降			実技 13:00以降
横浜	ウィリング横浜 横浜市港南区上大岡西 1-6-1	学科 10:00	宮崎	宮崎県婦人会館 宮崎市旭1-3-10	学科 10:00
		実技 13:00以降			実技 13:00以降

(注) 実技試験の開始時刻は、受験者ごとに異なります。 ※東京会場は、9時00分開始です。

受験申請期間

多くの方々が受験されるよう、家政婦(夫)、紹介従事者の皆さんに
周知、声がけをお願いします。

受験申請期間: 令和7年8月8日(金)～10月22日(水)

第10回記念事業

第10回検定試験の記念事業として、

- 全国10か所と過去最大規模での実施
- 受験者に記念クオカード(額面2,000円)を進呈
- 合格者のスキルアップのための教材、資料等の支援サービスの提供

をはじめ、さまざまな企画を用意いたしました。



クオカード
イメージ

家政士検定とは

- 家政士の資格を持つことは、生涯現役で活躍し収入を得る道を拓きます。
- 家政士の資格は、利用者の皆様にとって安心と信頼のシンボルです。
- 家政婦(夫)さんの受験を、協会、紹介所こぞって応援します。